

公立高校入試情報 岩手県

【国語】

令和6年度岩手県入試の全体傾向

大問1 小説 上野歩『お菓子の船』
 大問2 論説文 戸谷洋志『SNSの哲学 リアルとオンラインのあいだ』
 大問3 短歌 高野公彦『青春はみづきの下をかよふ風あるいは遠い線路のかがやき』
 大問3 短歌 早坂類『虹よ立て夏の終りをも生きてゆくぼくのいのちの頭上はるかに』
 大問3 短歌 松村由利子『広やかな秋のころよ何という鳥の声かと見上げる空の』
 大問3 短歌 千葉聡『はじめて出会う短歌100』
 大問3 短歌 佐藤佐太郎『秋分の日電車で床にさす光もともに運ばれて行く』
 大問3 短歌 若山牧水『白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ』
 大問3 短歌 佐佐木信綱『ゆく秋の大和の国の楽師寺の塔の上なる一ひらの雲』
 大問3 短歌 小島なお『さっきから少し傾きバスを待つ母の真上に雲白く浮く』
 大問4 古文 『十訓抄』
 大問4 古文 『呻吟語』
 大問5 表現・作文 国立青少年教育振興機構『高校生の進路と職業意識に関する調査報告書』
 大問6 漢字
 今年度は6大問構成になり、昨年度は論説文・漢文の融合大問だったが、論説文と2つの古文の読み比べが別々の大問になった。全体としてはバランスのとれた総合問題となっている。

■詩歌の問題の対策

本県では近年、詩歌の基礎知識や鑑賞の力を問う出題が続いている。今年度は、短歌とその鑑賞文をもとにした話し合いからの出題だった。日頃から詩歌に触れて、詩歌の基本的な知識を身につけるとともに、鑑賞に慣れておきたい。

■古文の問題の対策

昨年度までは現代文と古文や漢文の融合問題だったが、今年度は2つの古文の読み比べが出題された。それぞれの古文の内容をおさえたうえで、2つの古文の共通点や相違点をとらえる練習をしておきたい。

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●			
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●	●	●
		展開をとらえよう		●	●	
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●
		文章中の表現を味わおう				●
		話題・情報をとらえよう		●	●	
		指示語・接続語をとらえよう		●		
		文章を解釈しよう		●	●	●
		理由をとらえよう			●	
		段落構成をとらえよう				●
		要旨をとらえよう		●		
		古文のかなづかい・古語を学ぼう			●	●
		古文の会話・主語をとらえよう			●	
		古文の展開をとらえよう	●		●	●
		漢文・漢詩を味わおう	●	●		
	詩歌	詩・短歌を味わおう	●		●	●
		和歌・俳句を味わおう		●		
	文法	文の組み立てを知ろう	●			
		自立語を学ぼう			●	●
		付属語を学ぼう				
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表を読み取ろう		●		●
		話し合いをとらえよう	●	●		
		伝え方の工夫を学ぼう			●	
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出の題傾向式		大問数	4	4	5	6
		小問数	28	27	26	26
		記号解答	9	9	10	11
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	19	18	16	15